

— 桂 離 宮 —

こしょいん 古書院と月見台

観



月見台から見る庭

桂離宮の御殿は古書院・中書院・新御殿などからなっていますが、このうち古書院が八条宮初代としひと智仁親王によって初めに造られた建物です。屋

根は柿葺きで、京都御所の各御殿に見られるような、照り屋根（反った屋根）ではなく、逆に起り屋根と言って緩やかなふくらみを持ったおとなしく見える屋根です。

古書院は離宮の池を正面にして建ち、その方角は東から約30度南に傾いていて、中秋の名月を観賞するのに適した位置だと言われています。2

代智忠親王は同じ方角で少しずつ後方に下がる

いわゆる雁行型に中書院・新御殿などを建てました。

古書院の内部は、一の間、二の間、鍵の間、
囲炉裏の間などからなり、二の間の外に広縁を介して月見台があります。

二の間から月見台に抜ける明障子は、欄間にも障子が入れてあり、それも開けることで、大きく開放することができます。

月見台は幅4メートル、奥行き2.9メートルあり、周囲は栗の框とし、竹100本を簀の子張りしており、月を観賞するために広縁から池に突き出すように作られ、月見はもちろんのこと、苑内の主な茶屋や景観が一望できる位置にあります。

因みに桂離宮内では、この他にも、池に映る月を愛

でる月波楼があり、また月字形の引手（新御殿）、月字崩しの欄間（新御殿）など、月に関わる意匠も使われています。



月字形の引手

《京都》御所と離宮の葉（しおり）



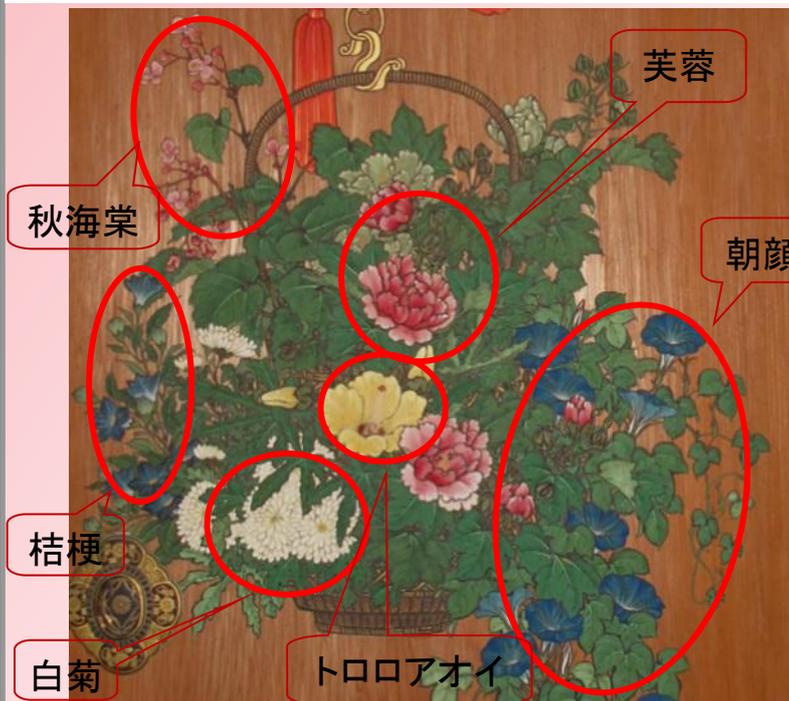
— 京都御所・桂離宮 —

花籠を画いた杉戸絵



こうごうぐうつねごてんきたごえんざしき
京都御所 皇后宮常御殿北御縁座敷杉戸絵「花籠」

画：山本探齋 



芙蓉

秋海棠

朝顔

桔梗

白菊

トロロアオイ

ここで紹介する杉戸の一部を「京都御所
宮廷文化の紹介」<平成30年春>にて
展示します

日時：平成30年4月4日(水)～8日(日)

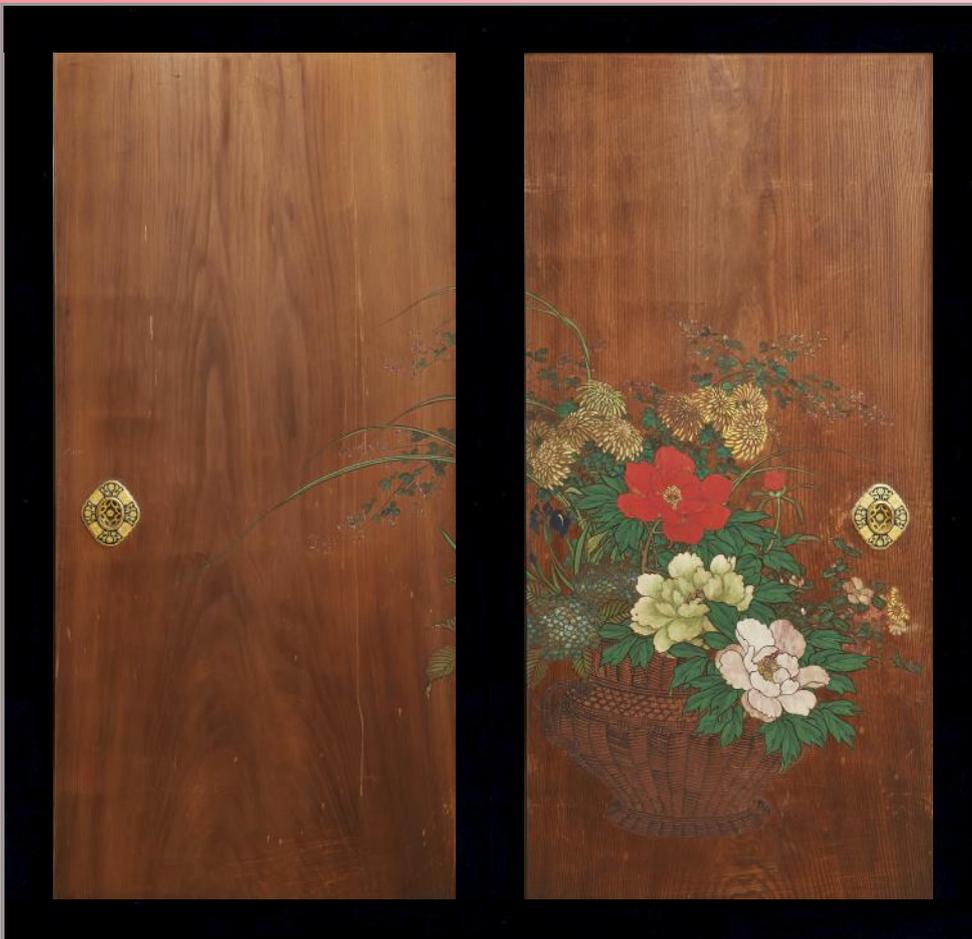
場所：管理事務棟

杉戸絵は、木の板で作られた戸に、様々な題材の絵を直接画いたものです。京都の御所・離宮では、花鳥画、風景画や、古典芸能、風俗、中国の故事などを題材としたものが画かれ、縁回りや廊下などに用いられて、通路となる空間に華やかさを添えています。今号では花籠と雅楽を主題とした杉戸絵を取り上げます。

花籠を題材にして画かれている杉戸は京都御所と桂離宮にあわせて3件あります。

左の写真は、こうごうぐうつねごてん 皇后宮常御殿の北御縁座敷にある杉戸です。この絵は、きたごえんざしき [葉其の十一](#)で取り上げた、たんさい 寿老人(画：山本探齋)の裏面に画かれています。

各面に1つずつ花籠が画かれていますが、右面の籠には3色の牡丹が盛られており、一方左面ではふよう 芙蓉、しゅうかいどう トロロアオイ、秋海棠、朝顔やききょう 桔梗などの花が盛られた籠が吊り下げられています。



次に、^{さんだいでん}京都御所の参内殿にある杉戸です。これは、参内殿^{ひがしごえんざしき}の東御縁座敷に詰められています。

杉戸は二面ありますが、画かれている花籠は右面に置かれたひとつで、そこから葉が左面に伸びています。大きな籠には紫陽花、菊、萩、牡丹といった広い季節にわたる花が盛られた様子が画かれています。

^{さんだいでんひがしごえんざしき}京都御所 参内殿 東御縁座敷杉戸絵「花籠」 画：鈴木百年



桂離宮 古書院御役席杉戸絵「花籠」
画：伝狩野永敬（模写：^{えいけい} 梶本武雄）



桂離宮 古書院御役席



最後に、桂離宮の古書院御役席にある杉戸です。現在、御殿には昭和46年に^{まつもと}梶本武雄により模写された杉戸が詰められており、^{えいけい}狩野永敬（京狩野派の4代目）が画いたと伝わる杉戸は、収蔵庫で保存しています（写真は模写）。

右面に、^{かいどう}茨と海棠が盛られている背の低い籠、左面に、^{おみなえし}菊、女郎花、薄や桔梗などの草花が盛られた籠が画かれています。

桂 棚 (かつらだな)



桂離宮にある新御殿は、八条宮(桂宮)^{としただ}二代智忠親王が後水尾上皇をお迎えするために増築された建物です。一の間には楕型窓の付書院をそなえ、その脇にしたん きやら紫檀、伽羅などの銘木を用い、棚板、地袋、袋棚を巧みに組み合わせた桂棚と呼ばれる違い棚があります。この棚は、修学院離宮の霞棚、醍醐寺三宝院の醍醐棚とともに天下の三棚と称されています。

桂棚にはまる小襖(計5面)は狩野探幽の作品です。(昭和28年に模写のものに入れ替え、現品は別に保存しています)

ちなみに一の間奥にある御化粧の間という小部屋の、ちょうど桂棚と背を接する場所にも違い棚があつて、「裏桂棚」とも呼ばれますが、その小襖も探幽が画いています。



- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| ① 御幸道 | ⑥ 石橋 | ⑪ 月波楼 | ⑬ 住吉の松 |
| ② 外腰掛 | ⑦ 松琴亭 | ⑫ 古書院 | ⑭ 桂垣 |
| ③ 蘇鉄山 | ⑧ 賞花亭 | ⑬ 月見台 | ⑮ 穂垣 |
| ④ 洲浜 | ⑨ 園林堂 | ⑭ 中書院 | |
| ⑤ 天の橋立 | ⑩ 笑意軒 | ⑮ 新御殿 | |



ろうかくばくふさんすいず
楼閣瀑布山水図 狩野探幽

(京都事務所保存のものを撮影)

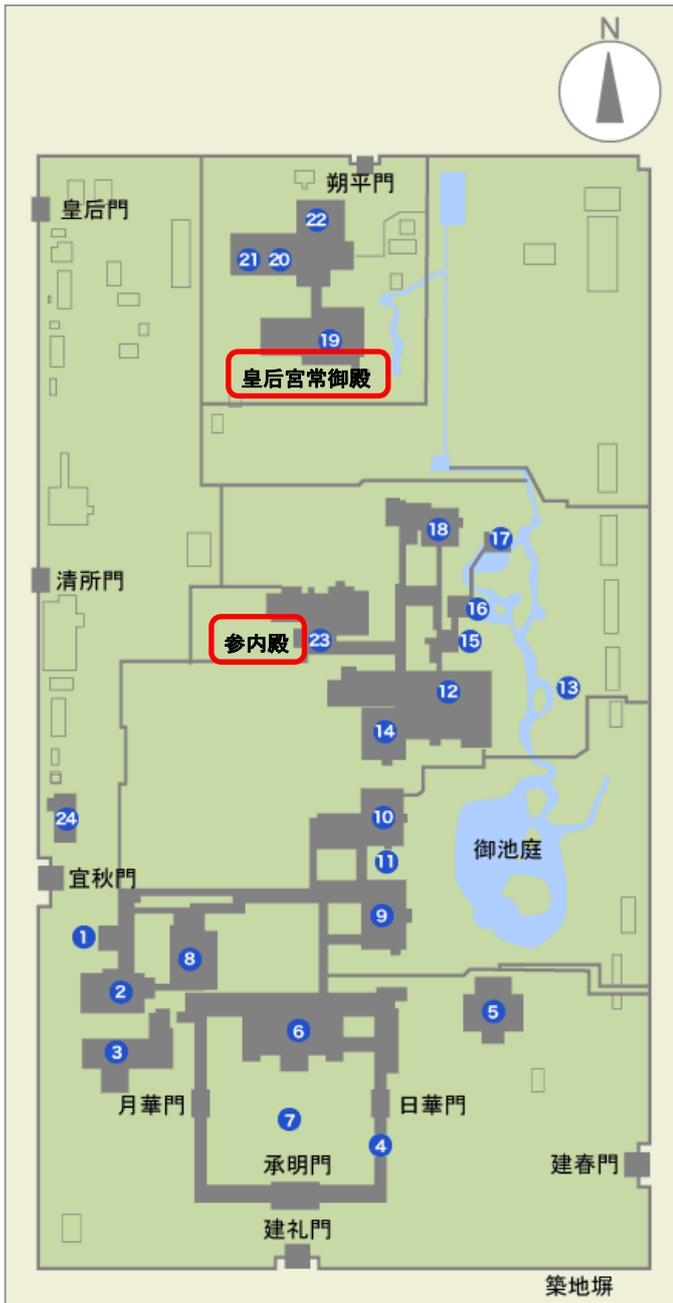
<問い合わせ先>

〒602-8611 京都市上京区京都御苑3
宮内庁京都事務所 代表電話：075-211-1211
参観係直通電話：075-211-1215

其の一：平成24年7月31日発行

次回の発行は10月頃を予定しています。

京都御所案内図



- ① 御車寄
- ② 諸大夫の間
- ③ 新御車寄
- ④ 回廊
- ⑤ 春興殿
- ⑥ 紫宸殿
- ⑦ 南庭
- ⑧ 清涼殿
- ⑨ 小御所
- ⑩ 御学問所
- ⑪ 蹴鞠の庭
- ⑫ 御常御殿
- ⑬ 御内庭
- ⑭ 御三間
- ⑮ 迎春
- ⑯ 御涼所
- ⑰ 聴雪
- ⑱ 御花御殿
- ⑲ 皇后宮常御殿
- ⑳ 若宮御殿
- ㉑ 姫宮御殿
- ㉒ 飛香舎
- ㉓ 参内殿
- ㉔ 参観者休所

桂離宮案内図



- ① 御幸道
- ② 外腰掛
- ③ 蘇鉄山
- ④ 洲浜
- ⑤ 天の橋立
- ⑥ 石橋
- ⑦ 松琴亭
- ⑧ 賞花亭
- ⑨ 園林堂
- ⑩ 笑意軒
- ⑪ 月波楼
- ⑫ 古書院
- ⑬ 月見台
- ⑭ 中書院
- ⑮ 新御殿
- ⑯ 住吉の松
- ⑰ 桂垣
- ⑱ 穂垣

観マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、<http://sankan.kunaicho.go.jp/> をご覧ください。

通マークは、申込不要の京都御所通年公開でご覧になれます。

詳細は、<http://www.kunaicho.go.jp/info/kyototsunen-sks-sankan.html> をご覧ください。

これまでの「《京都》御所と離宮の栞」については、宮内庁ホームページの[こちら](#)からご覧ください。

<問い合わせ先>
 〒602-8611 京都市上京区京都御苑3 宮内庁京都事務所
 代表電話：075-211-1211 参観係直通電話：075-211-1215